

(仮称)新加賀市屋内プール整備事業公募型プロポーザル審査基準

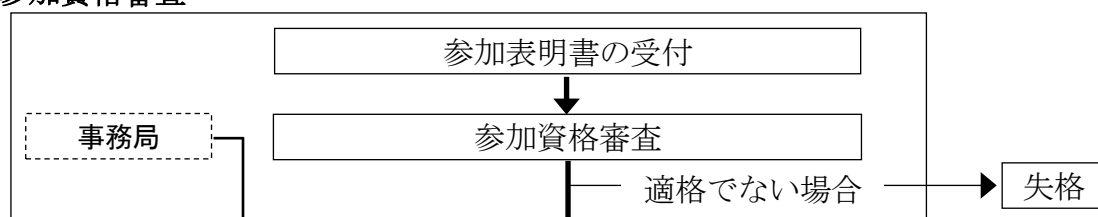
第1 趣旨

本基準は、「(仮称)新加賀市屋内プール整備事業公募型プロポーザル実施要領」(以下「実施要領」という。)に定めるもののほか、「(仮称)新加賀市屋内プール整備事業」(以下「本事業という。’)における事業者の選定に当たり、適正に審査、評価するための基準を示したものである。

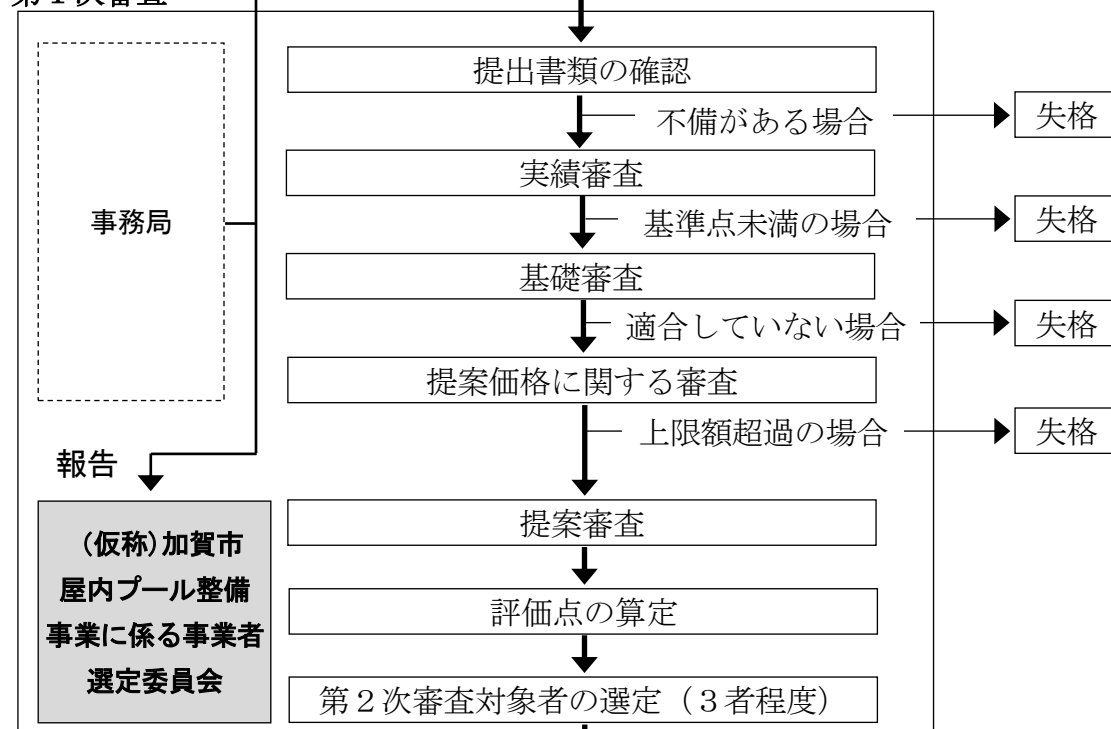
第2 審査の手順

審査の手順は、次のとおり参加資格審査、第1次審査、第2次審査に分けて行う。

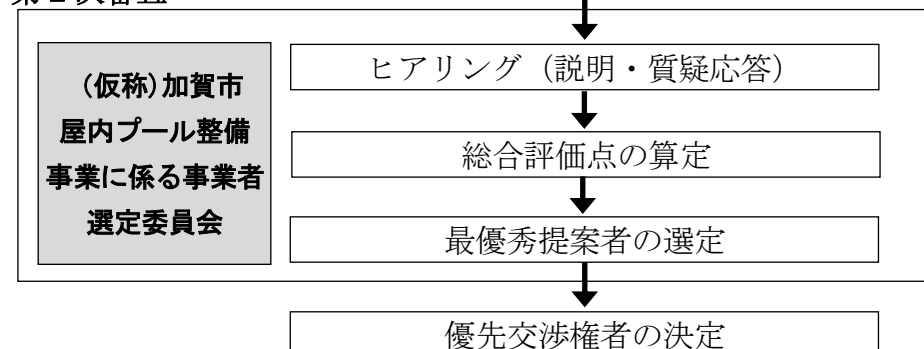
参加資格審査



第1次審査



第2次審査



第3 審査方法

1 参加資格審査

- (1) 参加資格審査は、参加資格の適格審査とし、参加希望者が本プロポーザルの資格要件を満たしていることを確認するものとする。
- (2) 審査は事務局で行い、「(仮称)新加賀市屋内プール整備事業に係る事業者選定委員会」(以下「選定委員会」という。)へ報告するものとする。
- (3) 資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2 第1次審査

- (1) 第1次審査のうち実績審査及び基礎審査、提案価格に関する審査は、本基準に基づき、事務局で評価を行い選定委員会へ報告するものとする。
- (2) 実績審査
 - ・参加者の業務実績（設計業務） 基準点 2点
 - ・参加者の施工実績（建設業務） 基準点 2点
 上記の分類において、下記に示す配点により基準点以上であること。
 基準点以上とならない場合は、失格とする。

分野		評価の着目点		判断基準		配点
設計業務	参加者の業務実績	同種施設	平成20年度以降において、同種施設新築工事に係る実施設計業務実績を件数で評価する。	3件以上の実績がある。	3	3
				2件の実績がある。	2	
				1件の実績がある。	1	
				実績がない。	0	
	公共施設	公共施設	平成20年度以降において、公共施設新築工事に係る実施設計業務実績を件数で評価する。	3件以上の実績がある。	2	2
				2件の実績がある。	1	
				1件の実績がある。	0.5	
				実績がない。	0	
建設業務	参加者の施工実績	同種施設	平成20年度以降において、同種施設新築工事の施工実績を件数で評価する。	3件以上の実績がある。	3	3
				2件の実績がある。	2	
				1件の実績がある。	1	
				実績がない。	0	
	公共施設	公共施設	平成20年度以降において、公共施設新築工事の施工実績を件数で評価する。	3件以上の実績がある。	2	2
				2件の実績がある。	1	
				1件の実績がある。	0.5	
				実績がない。	0	

同種施設：25m×5レーン以上のプールを含む屋内スポーツ施設（官民間わない。）

公共施設：延床面積2,000㎡以上の公共施設

(3) 基礎審査

ア 提案された屋内プールの建設用地が、実施要領に示した事業場所と合致しているか。

イ 以下の施設について、要求水準に則った規模設定がされているか。

① 25mプール：1レーンの幅2m以上、水深1.1m以上

障がい者、高齢者等が使いやすい入水スロープなどの設置

② 幼児プール：水深15cm～40cm、25mプール槽から独立

③ トレーニングルーム・ジム：150㎡以上

ウ 上記ア、イを満たしていない場合は、失格とする。

(4) 提案価格に関する審査

イ 提案価格が上限額を超えていないかを確認する。

ウ 提案額（提案価格見積額）が提案上限額を超過した場合又は不適切な場合は、失格とする。

(5) 提案審査

ア 事務局からの参加資格審査、第1次審査のうち実績審査及び基礎審査、提案価格に関する審査の報告を受け、選定委員会の各委員が提案の内容を審査する。

イ 提案審査の計100点を満点とした上で、選定委員会の委員の評価点の合計により評価する。

ウ 評価項目と配点

① 屋内プール建設位置及び用地提供に関する事項（20点）

評価項目	評価の視点	配点
立地の適格性	<ul style="list-style-type: none">・加賀市都市計画マスタープランを踏まえた、整備用地に対する考え方が明確に提案されているか。・交通の利便性を活用した建設位置が提案されているか。・用地の提供について、本市にとって有益な方法が提案されているか。・屋内プールの利用に際し十分な面積として提案されているか。・市内小中学校の水泳授業を、屋内プールで受け入れることを前提として提案されているか。	20

② 屋内プール建設用地の提供及び屋内プール整備に関する工程計画に関する事項（20点）

評価項目	評価の視点	配点
取組方針 ・工程計画 ・実施体制	<ul style="list-style-type: none">・本事業の目的を理解し、事業への高い取組意欲、明確な事業実施方針が提案されているか。・建設用地の提供及び設計や建設を短縮する工程計画が提案されているか。・工程管理の体制と手法について優れた提案がされているか。・市との連携、報告、連絡が適切かつ確実に実施されるための有効な取組方針及び具体的な実施体制が提案されているか。・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。	20

③ 屋内プールの施設整備に関する事項（４５点）

評価項目	評価の視点	配点
施設配置計画 (外部計画)	【周辺エリアとの関係性】 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境と調和した景観を形成するデザイン及びスポーツ施設としてシンボリックな外観デザインとしての提案がされているか。 ・本施設と周辺エリア等とのつながり（屋外動線）に配慮した施設レイアウトが具体的に提案されているか。 ・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。 	10
	【安全性】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利便性、利用者の安全性等を考慮した施設配置及びアプローチ動線の計画について優れた提案がなされているか。 ・車・自転車・徒歩など複数のアクセス手段を考慮に入れ、周辺道路からアクセスしやすい施設計画等について優れた提案がされているか。 ・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。 	10
施設計画 (内部計画)	【インクルーシブ】 <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが利用しやすい施設となるよう具体的な提案がされているか。 ・様々な利用形態に対応した計画が提案されているか。（混雑緩和、ユニバーサルデザイン、視認性・機能性） ・ユニバーサルデザインなどに配慮し、円滑で安全な施設内の動線やゾーニングが具体的に提案されているか。 ・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。 	10
	【安全性】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性に配慮した動線計画、下足エリア/上足エリア/素足エリア及びウェットエリア/ドライエリア等のゾーニングが明確に分割された提案がされているか。 ・事故の予防等、利用者の安全性に配慮した優れた提案がされているか。 ・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。 	10
	【ライフサイクルコスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・内外装、仕上、設備機器等について、点検、保守、保全、修繕、更新、清掃等のメンテナンスコストの低減に配慮した提案がされているか。 ・環境にやさしく、ライフサイクルコスト低減が図られる提案がされているか。 ・施設維持管理コストを縮減する実効性の高い方策が提案されているか。 ・その他特筆すべき点、優れた点が提案されているか。 	5

④ 屋内プール整備に関する自由提案に関する事項（１５点）

評価項目	評価の視点	配点
自由提案	<ul style="list-style-type: none"> ・財政負担の軽減、集客力の向上、環境負荷の軽減等に寄与する提案がなされているか。 ・要求水準以上の機能の提案がされているか。 ・提案された自由提案には優れた点が見られるか。 	１５

エ 評価方法は、ウに示す評価項目の基準配点に、下表の評価区分に応じた配点比率を乗じて算定する。

評価区分		配点比率
A	特に優れている	当該項目の配点×１００％
B	優れている	当該項目の配点× ８０％
C	普通	当該項目の配点× ６０％
D	やや劣っている	当該項目の配点× ４０％
E	劣っている	当該項目の配点× ２０％
F	不適切	当該項目の配点× ０％

（６）参加者が多数の場合は、第１次評価点の高い上位３者程度を選定する。

３ 第２次審査

（１）第１次審査で選定された上位３者程度に対して、ヒアリングを行う。

なお、参加者が１者となった場合においても、第２次審査を実施する。

（２）ヒアリングは、提案者からのプレゼンテーション（２０分）及び質疑応答（１５分程度）を行い、以下に示す評価項目と配点、評価方法を基に５０点を満点とした上で、委員の評価点の合計に、第１次審査での評価点を以下に示す配点で加点して評価する。

（３）評価項目と配点

評価項目	評価の視点	配点
事業計画地及び用地提供の適正	本市の都市計画や交通の利便性、周辺施設との連携等を考慮した最適なプール建設位置、用地提供方法として提案されているか。	１５
事業実施期間	建設用地の提供からプール完成までの事業実施期間を短縮するための具体的な提案がされているか。	２０
安心・安全の取組	誰もが安心して利用しやすいよう、バリアフリーやユニバーサルデザインなどに配慮した安全な施設として提案されているか。	５
健康づくりの推進	いつまでも健康で過ごせるよう利用者の心身の健康を維持増進するための提案や、運動する機会を提供するための提案がされているか。	５
快適性を高める機能	小さな子どもと大人が快適に利用できるよう、開放的な空間構成や諸室の配置、面積が提案されているか。	５
水泳授業との連携	児童生徒の水泳授業を受け入れるための駐車場の配置や諸室の配置、動線の確保が提案されているか。	５

多様な施設利用	プール利用以外での目的で訪れる人々の対話や交流を生み出す環境を整備するための提案がされているか。	5
自由提案	要求水準以上の優れた提案がされているか。	15

(4) 評価方法

ア 評価項目に示す評価基準の基準配点に、下表の評価区分に応じた配点比率を乗じて算定する。

評価区分		配点比率
A	特に優れている	当該項目の配点×100%
B	優れている	当該項目の配点×80%
C	普通	当該項目の配点×60%
D	やや劣っている	当該項目の配点×40%
E	劣っている	当該項目の配点×20%
F	不適切	当該項目の配点×0%

イ 第1次審査に関する配点

第1次審査での評価を下式のとおり加点する。

評価項目	評価の視点	配点
第1次審査	$\cdot (1 \text{ 次審査時評価点} / 100) \times 25$ ※ 小数点以下は切り捨て	25

4 審査は、すべて非公開とする。

第4 選定事業者（優先交渉権者）及び次点の選定方法

総評価点の50パーセント以上の者の中で、最高得点の者を最優秀提案者、次点のものを優秀提案者として特定する。

得点の総計で最も高い提案をしたものが2者以上いる場合には、第2次審査の評価項目の得点が上位の者を最優秀提案者として特定し、課題に関する評価の得点が同じ場合は、委員会において総合的に判断して特定する。

第2次審査参加者が1者の場合、総評価点の50パーセント以上となった者を最優秀提案者として特定する。